

(別紙4(2))

事業所名 グループホーム悠々

## 目標達成計画

作成日: 平成 28年 2月 1日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	26	モニタリングを毎月実施して、1年に1回の介護計画に活かし、現状に即したものにレベルアップする必要がある。	・モニタリングを定期化する。 ・モニタリングの結果を活かす。 ・ご家族との面談の機会を作る。	・毎月1回と期間を設定し、定期化する。 ・モニタリングの結果から、状況の変化を見出し、介護計画の見直しを関係者で話し合いをする。	6ヶ月
2	10	家族間の情報交換の場でもあり、今後も定着できるよう働きかける必要がある。	・家族会の定着。 ・年に2回は開催する。	・第1回の家族会の様子も踏まえ、家族会の意見・要望などの、情報交換の機会であることを伝え、参加を呼び掛ける。	6ヶ月
3	23	職員の気づき等について、計画作成者に報告され、アセスメントに活かしていく事をしていける。	利用者様の状態を把握し、アセスメントの見直しに活かす。	ユニットカンファレンスの結果を計画作成者に報告してもらい、担当者・看護師も交えアセスメントを見直していく。	12ヶ月
4	35	重度の利用者様の緊急時の避難方法のマニュアルが確立されていない。	年2回の避難訓練の実施。	重度の利用者様の避難方法を話し合い、訓練に取り入れる。避難訓練実施時には近辺の広報に努める。	3ヶ月
5	2	新興住宅地のため、地域との関わりが少しずつできているが、今後さらに深めていく必要がある。	地域の方々の当館の行事参加の呼びかけに努める。	当館の多目的室を地域の方々に利用して頂く事によって、交流を深めていく。当館の行事に参加して頂く。	12ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。